

報道関係各位

2023年10月17日
BYD Auto Japan 株式会社

電気自動車販売台数世界 No.1^(※1) の BYD が初出展

BYD Auto Japan 「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」 出展概要を発表

最新のオフロード SUV 「U8」とミニバン 「D9」 の日本初お披露目が決定

BYD Auto Japan 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：東福寺 厚樹、以下 BYD Auto Japan）は、東京ビッグサイトで開催される「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」（プレスデー：2023年10月25日（水）・26日（木）、一般公開日：2023年10月28日（土）～11月5日（日））の出展概要を発表いたします。



今回の「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」では“Essential Vehicle”をコンセプトに、BYD グループが掲げる「Technology」「Green」「Future」をテーマとする6つのブースで展示を行います。ブースでは日本発売車種第1弾のミドルサイズ SUV「BYD ATTO 3」、先月9月に発売したコンパクト EV「BYD DOLPHIN」、日本発売車種第3弾として導入予定の EV セダン「BYD SEAL」の計3車種に加え、BYD の最新テクノロジーを体感できるプレミアムブランド「仰望（ヤンワン）」のオフロード SUV「U8」、BYD とメルセデス・ベンツの合弁会社が開発したハイエンドサブブランド「DENZA（デンツァ）」のミニバン「D9」も展示いたします。期間中は「U8」のタンクターンの実演を実施予定です。さらに、特別ゲストを迎えたトークショーや、ブースをめぐってスタンプを集めるとミニカーやエコカップなどオリジナルグッズのプレゼントがもらえるスタンプラリーも実施します。

プレスデーである10月25日(水)には、11:00よりBYD Auto Japan ブース(東京ビッグサイト・東展示棟 4・5・6ホール)にてプレスカンファレンスを行います。当日はBYD アジア太平洋地域自動車販売事業部総経理 兼 ビーワイディージャパン株式会社 代表取締役社長の劉学亮およびBYD Auto Japan 株式会社 代表取締役社長の東福寺厚樹がプレゼンテーションを行います。

中国・深圳に本社を構えるBYDは、中国国内だけではなく、アジア太平洋や欧州、中南米などグローバルに乗用車事業を展開しており2022年及び2023年1~8月の電気自動車販売台数は世界No.1^(※1)となりました。BYD Auto Japanは、より多くの方々にBYDブランドが提供する様々なEVの選択肢と最新テクノロジーを知っていただく機会とするべく、日本最大のモーターショーである「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」への出展を決定しました。

(※1) 電気自動車=EV/PHEV/FCVの総称 台数情報出典:マークラインズ(株)

【BYD Auto JAPAN 「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」特設サイト】

URL: <https://byd.co.jp/e-life/event/jms2023>

■BYD Auto Japan ブース 展示モデル

・ 全長5m超のオフロードSUV「U8」

オフロードSUV「U8」はプレミアムブランド「仰望(ヤンワン)」の最新モデルです。独立式の4モーター駆動が可能な「e4プラットフォーム」が採用されており、その場で360度回転するタンクターンを行うことが可能です。U8の最高出力は1100ps以上で、0~100km/hを3.6秒で走り抜けることができます。



タンクターンの実演は、以下を予定しています。

| | |
|----------|-----------------------------------|
| 25日 | 14:30~ |
| 26日 | 11:30~(トークショー中) / 15:30~(トークショー中) |
| 27日 | 11:30~/15:30~ |
| 28日, 29日 | 11:30~(トークショー中) / 15:30~(トークショー中) |
| 30日以降 | 11:30~/15:30~ |

※タンクターンの実演時間は変更の可能性があるため、最新情報は特設サイトをご確認ください。

・ メルセデス・ベンツと共同開発したミニバン「D9」

BYDとメルセデス・ベンツの合弁会社が開発したハイエンドサブブランド「DENZA(デンツァ)」シリーズからミニバン「D9」も展示いたします。D9は全長5250mm×全幅1960mm×全高1920mmのミニバンで、PHEVとBEVの2通りのパワートレインを揃えています。さらにBYDが独自開発した「DiSusインテリジェントボディコントロールシステム」が採用されております。2022年8月の発売以降、2023年10月現在までの中国での累計販売台数は10万台を超える人気車種となっています。なお、今回の展示はBEVのみとなります。



- **BYDの最新技術を結集したハイエンドセダン「BYD SEAL」**

「BYD SEAL」は、「BYD DOLPHIN」と同じく海からのインスピレーションを得ており、スポーティーかつエレガントなデザインを特徴としたEVセダンです。BYDが2022年5月に発表したモデルで、その航続距離は555km（欧州WLTP値^{※2}）に達します。ブレードバッテリーを直接車体に設置し構造体としての役割をもたせることで、安全性、安定性を向上させるCTB(Cell to Body)技術など、BYDの最先端技術が結集された「BYD SEAL」が、EVの新しい選択肢となることを期待しています。

（※2）自社による算出値



- **最新テクノロジーを備えたスポーティーで躍動感あふれるミドルサイズSUV「BYD ATTO 3」**

スポーティーで躍動感あふれるデザインが特徴の「BYD ATTO 3」は、Euro NCAP^{（※3）}の安全性評価で最高評価の5つ星を獲得するなど、高い安全性が裏付けられたBYDの世界戦略EVです。BYDが独自開発した「ブレードバッテリー」^{（※4）}を搭載したEV専用のプラットフォーム「e-Platform 3.0」を採用し、470kmの航続距離（WLTC値^{※5}）と高い安全性、フラットな床面によって広い車内空間と440Lの荷室容量を実現しています。



▶ 「BYD ATTO 3」製品ページ：<https://byd.co.jp/e-life/cars/atto3/>

（※3）Euro NCAPは、ヨーロッパで実施されている自動車安全性評価テスト。

（※4）「ブレードバッテリー」は、BYDが2021年に発表した最新型のリン酸鉄リチウムイオン電池で、高い安全性、優れた航続性能、強度、長寿命を特徴にしています。

（※5）WLTC値 国土交通省審査値。一充電走行距離は定められた試験条件のもとでの値。お客様の使用環境や運転方法に応じて異なります。

- **さまざまなライフスタイルにマッチするコンパクトEV「BYD DOLPHIN」**

2021年8月に中国で販売開始して以降、グローバルで約43万台を販売した「BYD DOLPHIN」は、日本市場向けに機械式駐車場のサイズ制限をクリアできるよう全高を1,550mmに調整したコンパクトEVで、一充電あたりの航続距離が400km^{（※6）}の「BYD DOLPHIN」と、航続距離が476km^{（※6）}の「BYD DOLPHIN Long Range」の2つのグレードをラインナップ。街乗りから遠距離移動まで、お客様のライフスタイルに合わせた選択が可能です。さらに、車内に生命体が残されていることを検知した際にオーナーや周囲の人々に知らせる「幼児置き去り検知システム」をはじめ、充実した安心・安全を支える装備や機能を標準搭載しています。



▶ 「BYD DOLPHIN」製品ページ：<https://byd.co.jp/e-life/cars/dolphin/>

（※6）自社による実測値 WLTCモード（自社調べ）一充電走行距離は定められた試験条件のもとでの値。お客様の使用環境や運転方法に応じて異なります。

【BYD Auto Japan 株式会社について】

BYD の日本法人 ビーワイディー・ジャパン株式会社の 100%出資子会社として設立した BYD Auto Japan は、日本における BYD の乗用車販売サービス専業会社です。

| | |
|---------|---|
| 社名 | BYD Auto Japan 株式会社（英名：BYD Auto Japan Inc.） |
| 本社所在地 | 神奈川県横浜市神奈川区金港町 1 番地 7 横浜ダイヤビルディング 19F |
| 事業内容 | BYD 製乗用車の販売、アフターセールスおよびその他関連業務 |
| 代表取締役社長 | 東福寺 厚樹 |

【BYD グループとは】

BYD は、1995 年に中国・深圳で創業し、IT エレクトロニクス、自動車、新エネルギー、都市モビリティの 4 つの領域で事業をグローバルに展開しています。バッテリーメーカーとして創業した背景から、バッテリーはもとより、モーターやコントローラーなど電気自動車のコアとなる技術を自社開発・製造しています。特に、自動車事業においては、世界 70 超の国と地域、400 超の都市に電気自動車を展開し、中国国内では 9 年連続で NEV 販売台数第 1 位^(※7) となりました。さらに、2022 年には電気自動車販売台数世界 No.1^(※1) となりました。

(※7) 出典「Global EV Outlook 2020」

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2023 年 10 月 17 日（火）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

以上

製品に関するお問い合わせ：

BYD Auto Japan 株式会社 お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>